

はじめに

はじめての方もそうでない方もこんにちは！

年内最後のタームが終わり、残すは来年のサマータームのみになりました。留学生活も残り2ヶ月を切った今、初めてのホームシックを経験しました。自分の大切なことに気がつく、良い機会になりました。右の写真は、ホステルから4時間半歩き続け、見えたウェリントン山からの景色です。



ホバートを一望

Term4の振り返り Tourist Behaviour and Interactions

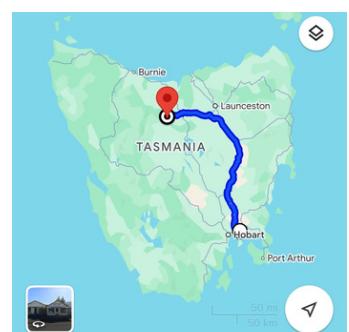
この授業では、実際にインタビュー調査を行い、授業で習った説にあてはめ、レポートを提出しました。ブラジル出身の友人にインタビュ어になってもらい、内容を録音しました。録音した内容は、アプリが自動的に文字を起こしました。そこで、私の英語の発音が上手くアプリに伝わっていないことが分かりました。軽く落ち込みましたが、質問内容はインタビュ어には、適切に届いていました。私の英語は、人には届いています。そう思うと、私に日本人特有の英語訛りがあることを嬉しく思いました。自分の個性としてプラスに捉えることができるのも、色々な国の人々が暮らし、色々な英語が共存する社会で生活してきたからこそだと思います。発音に自信がなく、英語を発することを億劫に感じていた中高時代の私に、自分の捉え方次第で、プラスにもマイナスにも働くことを教えてあげたいです。

Gender, Sexuality and Culture

この授業は、学生主体で進められ、意見を交換する場面が多くありました。その質問の多くが今まで考えたことがない内容で大変苦しました。例えば、今後ロボットが人間の性交渉の相手になりうるか、などです。これまでの授業では、自分の考え方や意見があり、言葉にするだけでした。しかし、性に関してオープンでない環境で育ってきたことから、そもそも自分の考え方や意見すら浮かびませんでした。自分の意見を構築するための情報が不足していました。難なく発言するクラスメイトに、私の現状を伝え、どうして意見があるのかを聞いたところ、「政府の方針や社会の状況など当たり障りのないことを言っているだけだよ」と言われました。もちろん、育ってきた環境は自分自身に影響します。しかし、自分から情報を取りに行くという姿勢が欠けていたことに気がつく良い機会となりました。

私のホリデイ タスマニア旅行

オーストラリア本土よりさらに緯度が高い場所に位置する、タスマニアへ行きました。日本でいう北海道のような場所で、車移動が普通です。私は、バスを駆使し、時折、人の優しさに助けられ、車に乗せてもらうなどし、1週間の旅を終えました。過去シドニー、ウルルと一人旅をしてきましたが、タスマニアでは、ホステルで出会った仲間と街を散策したり、美術館へ訪れたりしました。楽しかったけれど、どこか満足していない自分がいました。人のペースに合わせることに疲れていたようです。特に、ハイキングが好きなオランダ人との4時間半のハイキングは、きつかったです。歩幅が大きく違いました(笑)。



旅は、自分の好きも嫌いも教えてくれます。最終日は、ホステルで出会った仲間からのお誘いを断り、ひとりを満喫しました。ひとりでも、誰かとでも、自分が楽しめるペースを大切にしたいと思いました。



旅のお目当て：タスマニアンドevil



ウォンバット



10年前のマック



ワラビーバーガーと野生のワラビー



私のクリスマス

はじめて触れたのですが、「クリスマス」が私にホームシックをもたらしました。オーストラリアのクリスマスは、家族と過ごす大切な日です。ホストファミリーやその親戚の集いにお邪魔しました。そこで、家族のつながりにあたたかさを感じる一方で、自分が1人であることを痛感しました。私の家族がオーストラリアにはいないことを感じました。留学へ来て、初めて日本の家族や友達に会いたいと思いました。私の場合、涙が止まらなくなったり、食欲不振になったりはしませんでしたが、楽しいイベントが楽しいだけの思い出とはなりませんでした。楽しかったのも事実です！プレゼントを開封するため、朝5時にホストブラザーに叩き起こされたり、ありえない数のプレゼントに驚いたりと、まさに異文化体験でした。真冬の日本では考えられませんが、クリスマス当日は、ホストファミリーとサーフィンへ行きました。南半球ならではのクリスマスを満喫しました。



ジェリースライス



トライフル



パブロバ



サンタさんからのプレゼント×3人分



ホストブラザーからのプレゼントです(笑)

12/25・26は、Ballinaにあるホストファミリーの親戚のお宅へお邪魔しました。2日間で、左の写真の他に、チーズケーキとチョコミントケーキもいただきました。全てホームメイドで、とても美味しかったです。ジェリースライスはオーストラリア、トライフルはイギリス発祥…とスイーツからもオーストラリアの多様性を体験しました。

海やプールに入っては、ご飯を食べるのを繰り返しました。人生初のバギーに乗ったり、車の荷台に揺られ海へ行ったりと、楽しかったです。とても嬉しかったのが、生のカキとエビが食べられたことです。基本、魚介類はフライされているため、久しぶりの生のカキとエビに感動しました。



オーストラリアのホリデイに欠かせないのが、クリケットです。クリケットは、イギリス発祥、最長で5日間かけて行われるスポーツです。オージーは、試合を見るだけでなく、実際に友だちや家族とプレイして、ホリデイを過ごすようです。私も実際にやってみましたが、ピッチャー役は、ボールを投げないようにするのが難しく、すぐに交代させられました。

私の年越し

日本食がとても恋しくなり、お好み焼きを2日連続食べました。ホストファミリーにも食べてもらったのですが、ソースが口に合わなかったようです。かつおぶしは、かけようともしてくれませんでした。私にとって懐かしいお好み焼きの匂いは、彼らにとっては未知の匂いであり、強い匂いだと言っていました。これもまた、良い経験となりました。14歳のホストブラザーは気に入ってくれたようで、嬉しかったです。サンタさんから日本への航空券をもらったホストファミリーが、日本で日本食を楽しめるかが少し心配です。日本食の美味しさに気づいてもらえますように：）

年越しの瞬間は、友だちとビーチで過ごしました。ビーチ沿いに花火が打ち上がり、ビーチは、Happy New Yearという叫び声で溢れました。2025年に入り、私の留学生活も残り2ヶ月を切りました。ビーチのある生活、ホストファザーの作るビッグなディナー、11歳のホストブラザーのいたずら…どの瞬間も大切に過ごしたいです。